



第1回：集いたくなる庁舎ってなんだろう？

2017年 4月 22日(土) 13:30～16:00 参加者：33名

第2回：子育て中の親子が利用しやすい庁舎ってなんだろう？

2017年 5月 20日(土) 13:30～16:00 参加者：31名

場所：高砂市役所 南庁舎 5階大会議室

熱い気持ちを持った
仲間と未来の庁舎に
ついて考える2日間。

WORKSHOP
REPORT

2017

オリエンテーション（第1回）



挨拶／はじめに

市民ミーティング初回のため、冒頭に登市長より、参加した方々へのご挨拶がありました。その後、進行役であるLifeWorkの内海氏にバトンタッチし、配布資料や当日の流れなど、会が始まる前の基本事項の確認がありました。



6~8人ごとにテーブルに分かれて着席



担当者より事業の概要を説明



知ろう！① 事業概要説明／ 設計のポイント

市民ミーティングを始める前に、今回の整備事業の内容について、市担当者よりスライドを使った説明がありました。そして途中で、設計事務所の担当者より、今回の設計のポイントについての説明がありました。（詳細については以下参照）

新庁舎整備の事業概要

現在の庁舎（本庁舎）は昭和32年に建設され、60年経った今、老朽化が深刻な課題となっています。その他、執務室の狭隘化、バリアフリーへの対応不足、庁舎が分散していることによる市民サービスの低下、耐震性の不足といった課題も抱えています。中でも、耐震性の不足は最大の課題であり、こうした様々な課題を解決するためにも、建替えを行うこととなりました。現在は、新庁舎の建設に向け、今年2月から株式会社東畠建築事務所と委託契約を締結し、設計業務を行っているところです。

市庁舎は職員が仕事をする場所でもあります、市民の財産でもあります。昨年度策定した庁舎整備計画基本構想に掲げている、「歴史・文化を活かして未来に飛躍ひと・まち見つめる高砂市庁舎」という基本理念のもと、①市民の生命と財産を守る安心安全の庁舎 ②誰もが利用しやすい庁舎 ③市民に開かれた庁舎 ④環境に配慮した庁舎 ⑤高砂の魅力が感じられる庁舎という5つの基本方針を定めました。

これまで庁舎整備に関して市民説明会や意見交換会などを開催してきましたが、より満足していただける庁舎整備を目指し、市民ミーティングという形で皆さまのご意見をお伺いすることにしました。市役所を利用していただくという視点から、②誰もが利用しやすい庁舎 ③市民に開かれた庁舎 ④高砂の魅力が感じられる庁舎という項目について話し合いを進めていきます。私たちでは思いつかない発想やご意見をぜひお聞かせください。

登市長よりご挨拶

現在の庁舎も、今年で築60年になります。老朽化や耐震といった問題に対応するため、これまで10年近く議論を重ねてきましたが、ようやくこの市民ミーティングまでたどり着くことができました。

新しい庁舎が将来世代にとって価値あるものになるためには、「古いから新しくしよう」という考え方だけでは十分ではありません。市の職員だけでなく、庁舎を利用してくださる市民の皆さんにとっても、親しみのある集まりやすい庁舎になることを目指し、安心安全な庁舎、誰もが利用しやすい庁舎、など5つの基本方針を定めました。この基本方針を基に、市職員と設計事務所だけでなく、市民の皆さんとも一緒に新しい庁舎について考えていきたいと思っています。市民のみなさんがこの庁舎に対して、

愛着を持てるような進め方をしていきたい。そのためにも、こうした場を使っていろんな意見を聞かせてください。



庁舎は一度建てるとき50~60年は使い続けます。そのため、今の中高生たちにも積極的に意見を聞いていきます。また、こうした取り組みに参加するのが難しい方に対し、広報たかさごなどのアンケートも検討しています。そのように、市民の意見を取り入れた新庁舎を目指していきたいと思っていますので、ぜひいろんなご意見を聞かせてください。

設計のポイント

今回私たちが考えているポイントは3つあります。ひとつは、「通り抜けできるみちがあること」です。今回の敷地は三角形なのですが、近道できる道があると便利です。通り抜けでき、歩きやすく、かつ楽しい道をつくりたいと考えています。ふたつ目は「みちに面して広場があること」です。通り抜けできる道に沿って、いろんな大きさの広場があると、より楽しくなりますし、交流も生まれます。最後は「交流できる場所があること」です。新庁舎には、交流できる多目的に使用できる空間をつくりたいと考えています。いろんな市民の方の交流がここで生まれることを期待しています。

スケジュールですが、平成30年度中ごろまでに設計を終え、その後工事に入ります。平成34年度の完成を目指していますので、これからもお力を貸してください。



株東畠建築事務所
設計室長 中村 文紀 氏

プログラム詳細（第1回）



知ろう！② 今回の進め方

続いて、進行役の内海氏より、市民参加型で設計プロジェクトを進めていく際のコツとポイントについて紹介がありました。内海氏が専門とする、地域課題を地域住民とともに解決する「コミュニティデザイン」という分野からの知見を話してもらいました。



進行役より市民参加のコツとポイントを紹介



テーブルのメンバーに自己紹介



自己紹介

初回のため、参加者同士の自己紹介を丁寧に行いました。「呼ばれる名前」や「こんな高砂市になってもらいたい」など、お互いの距離が縮まりやすい内容で自己紹介することで、話しやすい雰囲気が生まれ、よりお互いのことを知ることができました。



Yes, and ゲーム

お互いに自己紹介をしたあと、相手を否定しないコミュニケーションである「Yes, and」について学びました。No, butで受け答えをするのではなく、まず「そうですね」と相手を肯定し、「さらに～」とつなげていくコミュニケーションです。



笑顔あふれるコミュニケーション



出てきた意見をみんなでまとめる



ワーク 集いたくなる 庁舎って何だろう？

「市民が集いたくなる庁舎」について話し合いました。個人として集いたくなる場面だけではなく、団体として集いたくなる場面についても考えました。ポストイットに意見を書き、それを発表し合い、模造紙にまとめていく、という形で話し合いを進めていきました。

市民参加による設計プロセスのポイント

POINT

それぞれが得意なところで力を発揮しよう。

行政職員

執務のプロ

市民

生活のプロ

設計者

デザインのプロ

「高砂市での生活」については、行政職員や設計者よりも市民の皆さんの方がよくご存知です。市民として使いやすい庁舎にするため、デザイン案よりも「使い方」の意見を積極的に出しましょう。

POINT

「自分たちも使っていくんだ」という意識を持とう。

- 「要望」ではなく「未来のアクション」から意見を出していこう
- ともに庁舎を使っていく「仲間」を見つけよう
- 話し合いの結果を「目に見える形」でまとめ、他の人にも伝えよう



市民が庁舎建設プロセスに関わる3つのメリット

自分の生活を豊かにするための意見を直接伝えられる

まちに対する熱い想いを持った仲間に出会える

完成までの時間を楽しむことができる
(参加・待望)

LifeWork
コミュニティデザイナー
内海 慎一 氏（進行役）



若手職員による発表



発表／共有

ワーク内容について、テーブルファシリテーターとして参加していた若手職員から発表をしました。隣のテーブルに移動し発表する、という形式での発表であったため、回を重ねるごとに発表の仕方がうまくなっていたのが印象的でした。

プログラム詳細（第2回）



前回のふりかえり

はじめにニュースレターを使い、前回のワークショップのふりかえりをしました。その後、前回のミーティングでお伝えした新庁舎整備の事業概要や建設スケジュールについてもおさらいしました。



ジェスチャーだけで誕生日を伝える



テーブル分け

前回と違ったメンバーで話し合いをするため、テーブル分けのためのゲームに取組みました。口ではなく身振り手振りで伝えながら、誕生日順に輪になっていくというゲームです。普段とは違うコミュニケーションを楽しむことができました。



ワーク どんな場所・サービスがあるとよいか考えよう

子育て中の親子にとって、庁舎にどんな場所やサービスがあればよいかを話し合いました。そこにいる自分をイメージしてみたり、市内の他施設ではできることなどを意識しながら考えることで、魅力的な意見が多く出てきました。



楽しみながら意見を出し合いまとめていく



模造紙を使って他のメンバーに説明する



発表・共有

ワーク終了後、それぞれのテーブルで話し合った意見について、模造紙を使って発表し合いました。それぞれのテーブルごとに内容も異なり、また、発表者の個性も感じられた発表タイムでした。

ワーク結果

第1回：集いたくなる庁舎ってなんだろう？

高砂市のことことがわかる（情報がある）

- 市のイベントなどの情報がわかりやすい
- パソコンがあり情報を調べられる
- など

設備・環境が整っている

- 仕切りがなくて見通しがよい
- 階段の段差が低い、通路が広い
- トイレが広くてわかりやすい
- など

屋外空間が充実している

- 駐車スペースが広くて停めやすい
- 四季を感じる木や花がある
- など

活動・イベントが行われている

- パブリックビューイング
- ぼっくりんメンバーと遊べる
- など

リラックスできる

- 広い廊下にゆっくり座れるベンチがある
- 誰でも来れる気軽な食堂がある
- など

子ども連れが利用しやすい

- 子どもがいても申請が楽にできる
- 子どもが遊べる場所や遊具がある
- など

第2回：子育て中の親子が利用しやすい庁舎ってなんだろう？

気兼ねなく使いたい

トイレ

- ・子どもと一緒にに入る広いトイレ
- ・授乳やオムツ替えができる
- ・ベビーカーも入れる
- ・女子トイレの中に子ども用小便器
- など

ベビーカー

- ・バリアフリーの玄関
- ・ベビーカーの貸し出しと預かり
- ・ベビーカーがあっても動きやすい
- ・ベビーカー置き場
- ・使わなくなったベビーカーの提供
- ・ゆるやかで広いスロープの設計
- など

食事

- ・持参したものを飲食できる場所
- ・離乳食など子どもの食事をしていい
- など

その他

- ・子育て中に必要な課の動線を短く
- ・手続きの間子どもを遊ばせられる場所
- ・屋外でも利用できる囲まれたスペース
- ・荷物ロッカー
- など

ママ友と集まりたい

- ・子連れで友達と話せる
- ・手続きの合間にママ同士で会話できる空間
- など

キッズコーナー

- ・見通しのよい明るい部屋
- ・図書スペース、ビデオルーム
- ・託児サービス
- など

子どもと学ぼう

- ・高砂の文化を学べるスペース
- ・子育て関係の情報がまとめられた本
- ・市の歴史がわかる展示コーナー
- ・議場の親子席（傍聴スペース）
- など

参加者の声

同じ市内なのに会ったことのない人と話しあえて楽しかった。

ワークショップ形式の取り組みは有効であると感じた。

子育てママや商工会議所の方など、いろんな目線で意見交換ができるよかったです！

市民として参加でき、ひとつでも何か役に立つことがあればと思っている。



子育て中なので意見が出てよかったです。また、他の意見や自分が思っていなかつたことも聞けて良い経験になった。

議場に親子席があると嬉しい。
(親子にとっても傍聴が身近なものに)



やはり笑顔が見えるサービスを望んでいることがわかった。

このような機会が増えて、市民と行政がコミュニケーションを十分取れるようになってもらいたい。

いろんな年齢の方と話す機会が普段あまりなく、新鮮で楽しい時間だった。



多様な立場の方々から「私の市役所」という観点での意見が聴けて有意義だった。



プライダル都市という名前の由来を知ることができよかったです。

老人が少なかったのであまり意見が合わなかったが、楽しかった。

市役所のミーティングなので難しく考えてドキドキしていたが、明るく楽しく素敵な時間だった。

子どもが小さかった頃に困ったことや、あればいいと思っていたことを思い出しながらアイデアが出せた。



これから子育てをする立場なので、今日出た意見がぜひ現実になれば嬉しい。

子育て中のお母さんの意見を聞くことができ、保育学生である自分にとっても良い刺激だった。

市民意見の場が今回だけでなく、今後もあれば素敵なまちになりそうだと思った。



ワークショップの様子



↑ 第1回

第2回 ↓



新庁舎建設スケジュール

これから的新庁舎完成までのスケジュールは、平成30年5月末まで設計業務を行ったあと、新庁舎建設に着手し、平成34年度の事業完了を目指しています。

	H28年度 H29年2月～	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
設計 (基本設計・実施設計)							
新庁舎建設				約1年6ヶ月	約4年		

※このスケジュールは予定のため、今後変更となる場合があります。

高砂市 担当課より

皆様方には大変お忙しい中、この市民ミーティングにご参加いただき、誠にありがとうございました。
時間の都合上、わずか2回だけの開催でしたが、行政の職員が思いつかないご意見も多数あり、市民の皆様に愛される庁舎を目指すうえで、非常に有意義な市民ミーティングであったと実感しています。
市民の皆様から幅広い意見を集めたいという趣旨で、制約を設けず議論して頂いたことで、新庁舎以外での検討できる意見も多く頂きました。頂いたご意見の中から、新庁舎で採用できることを更に精査して、設計に反映したいと考えています。

